

苦しい中でも明るく頑張ってます！！

コロナの影響が2年以上に渡っています。新幹線開通により東京方面からの来訪者が増え、一時はわが社のお客様である宿泊施設や飲食店のLPガス消費量も増えましたが、コロナ禍による消費減退は、わが社の配送料金収入減にもつながりました。感染拡大も落ち着きつつありますが、このまま収束して消費が戻ることを祈るばかりです。

物流会社の経営にとって、もうひとつの頭の痛い問題が燃料代の高騰です。わが社は14台の配送車両を運行していますが、昨年後半からの値上がりにより、年間の燃料経費は、昨年比べて3割（?百万円!）増加、更にウクライナ情勢や円安の進行により燃料高の深刻さは増しており、苦しい状態の長期化が予想されるどころです。

悩みは尽きませんが、いずれも私たちの力では



(上)ボンベ配送車 (下)バルク配送車



変えることが難しい問題ですから、配送の現場でできる事は、安定供給、安全確保の毎日の積み重ねによってお客様の信頼をしっかりと掴み、お客様のところに人が戻れば、わが社の配送も元に戻るようにしておくことだと思っております。

苦しい中でも明るく頑張ってます！！

配送先のお客様から「大変やね、いつもありがとう」のお言葉。元気百倍です！